



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名  
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525  
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	2,775	3.4	173	△23.2	189	△41.7	110	△46.7
26年2月期第1四半期	2,683	△1.4	226	32.7	324	154.0	206	186.6

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 101百万円(△68.1%) 26年2月期第1四半期 318百万円(190.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	6.49	—
26年2月期第1四半期	11.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	13,288	8,540	64.3
26年2月期	13,128	8,524	64.9

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 8,540百万円 26年2月期 8,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	5.0	180	△21.3	200	△38.3	120	△39.4	7.06
通期	9,300	3.4	230	2.0	250	△34.4	150	△28.1	8.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	19,078,500株	26年2月期	19,078,500株
27年2月期1Q	2,092,225株	26年2月期	2,091,898株
27年2月期1Q	16,986,383株	26年2月期1Q	17,747,652株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年5月31日）の我が国経済は、政府の経済政策・金融緩和策を背景に企業収益の改善が進みました。一方、個人消費は消費税率引き上げ前の駆け込み需要発生と、その反動減が懸念される等不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、個人需要は消費税率引き上げの影響はあるものの、継続して堅調に推移いたしました。法人需要につきましては、引き続き低調な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、積極的にパーソナルユースの購買層の幅を広げるべく、魅力ある新製品を投入し、売上の拡大に努めてまいりました。

新製品では、発表以来好評を博しているSMART FIT(スマートフィット)シリーズのラインナップの拡充を行い、キャリングポーチ、キャリングバッグ、キャリングトートバッグを中心に売上を伸ばしました。また、AQUA DROPS(アクアドロップス)シリーズは、コングレスケース、ファイルケース等薄型ケース類が売上を伸ばし、ツイストリング・ノートも好調を持続いたしました。家庭用向けメディカル用品MS+(エムエスプラス)シリーズも引き続き順調に推移いたしました。一方、既存製品群は、クリヤーブックが堅調に推移し新製品との入替等が進むものの、売上を維持いたしました。この結果、事務用品等事業は総じて堅調に推移いたしました。

また、不動産賃貸事業は、若干賃貸料収入が減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、27億7千5百万円（前年同期比3.4%増）となりました。利益面につきましては、円安等により原材料等の調達コストが大幅に上昇したため、営業利益は1億7千3百万円（前年同期比23.2%減）となりました。経常利益は、USドル建債権による為替差益が前年同期より減少したこと等により1億8千9百万円（前年同期比41.7%減）となり、四半期純利益は1億1千万円（前年同期比46.7%減）となりました。

なお、当社グループの主要な事業であります事務用品等事業は、季節的要因から第1四半期連結累計期間は売上高、利益額ともに大きくなる傾向にあります。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比増減（%）
フ ァ イ ル	968	34.9	0.7
バインダー・クリヤーブック	615	22.2	2.7
収 納 整 理 用 品	753	27.1	10.1
そ の 他 事 務 用 品	345	12.5	0.1
事 務 用 品 等 事 業	2,683	96.7	3.6
不 動 産 賃 貸 事 業	92	3.3	△0.7
合 計	2,775	100.0	3.4

#### 【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

##### <ファイル部門>

ルーパーファイル、アクアドロップス・リングファイル、リクエスト・D型リングファイル等は、引き続き順調に推移いたしました。既存製品は、別製品受注が法人需要低迷の影響を受けたものの、底堅く推移いたしました。その結果、ファイル部門の売上高は9億6千8百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

##### <バインダー・クリヤーブック部門>

リクエストシリーズやアクアドロップスシリーズのポケット交換タイプクリヤーブックが売上を伸張し、他のクリヤーブックも堅調に推移いたしました。また、ツイストリング・ノートをシリーズ展開した1/3（ワンサード）インチピッチシリーズも順調に進捗いたしました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は6億1千5百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

##### <収納整理用品部門>

SMART FITシリーズの新製品キャリングポーチ、キャリングバッグ、キャリングトートバッグ等を中心に売上を伸ばし、机上用品シリーズやファイルケース、コングレスケース、ポイントカードホルダー等が、順調に推移いたしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は7億5千3百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

##### <その他事務用品部門>

家庭向けメディカル用品の新シリーズMS+が順調に売上げを伸ばしましたが、既存の製品との入替進行等により、その他事務用品部門の売上高は3億4千5百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は2億8千3百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は1億5千1百万円となりました。

#### 【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、本社ビルが貸室の稼働率が低下したこと等により、不動産賃貸事業の売上高は9千2百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は2千2百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1億6千万円増加し、132億8千8百万円となりました。これは現金及び預金等流動資産が増加したこと等によるものであります。純資産は、85億4千万円となり自己資本比率は64.3%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移していることから、平成26年4月11日発表時より変更はいたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,221,040	1,363,640
受取手形及び売掛金	1,801,991	2,047,061
商品及び製品	1,479,713	1,315,847
仕掛品	70,618	64,825
原材料及び貯蔵品	682,596	665,617
繰延税金資産	86,617	94,877
その他	188,015	138,275
貸倒引当金	△3,649	△4,249
流動資産合計	5,526,943	5,685,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,671,882	2,618,488
機械装置及び運搬具（純額）	778,612	761,269
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産（純額）	1,885	1,469
その他（純額）	146,377	185,471
有形固定資産合計	6,523,938	6,491,879
無形固定資産	56,552	52,008
投資その他の資産		
投資有価証券	631,511	679,830
その他	396,971	386,735
貸倒引当金	△7,450	△7,450
投資その他の資産合計	1,021,032	1,059,115
固定資産合計	7,601,523	7,603,003
資産合計	13,128,467	13,288,899

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,524	902,959
短期借入金	569,000	556,000
リース債務	1,656	1,289
未払法人税等	96,578	102,446
賞与引当金	111,381	166,890
役員賞与引当金	12,250	17,675
その他	410,166	486,879
流動負債合計	2,015,556	2,234,139
固定負債		
長期借入金	1,088,000	1,022,000
リース債務	329	276
繰延税金負債	209,856	211,663
退職給付引当金	883,817	878,480
役員退職慰労引当金	157,124	150,833
その他	249,564	250,731
固定負債合計	2,588,692	2,513,985
負債合計	4,604,249	4,748,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,357,938	5,383,189
自己株式	△397,599	△397,659
株主資本合計	8,202,201	8,227,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,737	197,519
繰延ヘッジ損益	33,845	24,615
為替換算調整勘定	121,434	91,247
その他の包括利益累計額合計	322,016	313,382
純資産合計	8,524,217	8,540,774
負債純資産合計	13,128,467	13,288,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,683,882	2,775,612
売上原価	1,746,147	1,873,388
売上総利益	937,734	902,223
販売費及び一般管理費	711,326	728,447
営業利益	226,408	173,776
営業外収益		
受取利息	97	266
受取配当金	1,267	1,714
為替差益	100,233	12,208
雑収入	4,316	8,919
営業外収益合計	105,915	23,108
営業外費用		
支払利息	4,682	4,094
為替差損	50	—
雑損失	2,691	3,234
営業外費用合計	7,425	7,328
経常利益	324,898	189,555
特別損失		
固定資産廃棄損	166	—
特別損失合計	166	—
税金等調整前四半期純利益	324,732	189,555
法人税、住民税及び事業税	138,978	97,185
法人税等調整額	△21,137	△17,813
法人税等合計	117,841	79,371
少数株主損益調整前四半期純利益	206,890	110,183
四半期純利益	206,890	110,183



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	206,890	110,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,534	30,782
繰延ヘッジ損益	18,182	△9,229
為替換算調整勘定	35,574	△30,186
その他の包括利益合計	111,291	△8,633
四半期包括利益	318,181	101,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,181	101,549
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,590,685	93,196	2,683,882	—	2,683,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	411	411	△411	—
計	2,590,685	93,607	2,684,293	△411	2,683,882
セグメント利益	206,263	20,145	226,408	—	226,408

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,683,036	92,576	2,775,612	—	2,775,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	433	433	△433	—
計	2,683,036	93,009	2,776,045	△433	2,775,612
セグメント利益	151,442	22,333	173,776	—	173,776

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。